

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町歴史文化施設資料館及び人物館検討委員会
- 2 会議日時 令和3年9月15日(水) 14時00分から15時30分まで
- 3 開催場所 富士川町高齢者ふれあいセンター 会議室
- 4 出席者数 (1) 委員 9名
(2) 事務局 7名(企画設計業者含む)
- 5 議題 企画提案内容について
- 6 委員会内容
 - (1) 開会
 - (2) 委員長あいさつ(資料館検討委員会委員長)
 - (3) 議事
 - ①企画設計業者の選定結果について
 - ②企画提案内容について
 - ③その他(現地視察)
 - (4) 閉会
- 7 発言の内容
 - ①企画設計業者の選定結果について
事務局 プロポーザル方式により企画設計業者が選定された結果を報告する。

②企画提案内容について
事務局 企画設計業者より、提案内容について資料を用いて説明する。

事務局 提案内容の中で、既にプロポーザル審査の際に指摘され、修正や今後検討する箇所があることを説明する。
説明した修正及び検討箇所は次のとおり

- ・「偉人」の定義が難しいため、「人物（館）」とする
- ・提案にある歴史監修者は、公務員で副業が禁止されているため別の人物を検討する
- ・人物館で紹介する人物は、検討委員会で選定された30人全員を展示する
- ・提案内容にある既存資料の舟は、高瀬舟でなく渡船である
- ・角倉了以のパネルをなるべく似るよう制作する

委員 角倉了以は茶道にも精通しており、角倉金襴という柄が有名である。角倉了以をパネルで再現する際は、着物の柄を角倉金襴にするとよいと思う。

委員 今回の提案が改修工事費の設定金額があつての提案であるとのことだが、県内の子どもたちの学習活動への支援という展示内容の考え方であれば、是非本物の高瀬舟を見てもらうことが大切である。児童センターにある渡船の展示も良いが、富士川舟運を子どもたちに伝えていくのであれば高瀬舟（長艘）を原寸若しくは1/2スケールで、改修工事費を増額してでも作成し、展示していただきたい。

委員 身延町和田の市川家住宅に当時の高瀬舟があつたと思うので確認すると良い。

委員 小原屋原田商店に残っている当時の塩を少し分けてもらって展示できればよい。また、平成6年に富士川舟運を再現した時の映像も視覚資料として活用できると思う。

委員 富士川舟運の開削は角倉了以だけではなく、息子の与一も深く関わった。徳川家康の命で開削をおこなったとよく言うが大久保長安も深く関わっていると思う。そのような歴史をしっかりと検証し、この資料館で子どもたちが当時の物を体感でき、本当の歴史を学べるようにしていただきたい。

委員 富士川舟運では上げ塩下げ米と言われるように静岡からは主に塩が運ばれてきた。その塩がどこから運ばれてきて、どこまで運ばれていったのか、塩の道がわかる展示も必要だと考える。

委員 韮崎市に鯉沢横丁という場所がある。このような場所があるのも富士川舟運の繁栄を示すものであるので展示内容に含めると良い。また、富士川以外にも長野県の上田川など全国に舟運はある。富士川舟運だけでなく全国の舟運を紹介し、点在する舟運を面的に紹介することで学習の幅も広がり子どもたちの学習支援となるはず。

委員 富士川舟運の開削は、角倉了以が徳川家康の命により行ったとされているが、大久保長安を通して間接的に命を受けたとも考えられる。また、開削することで運賃が入ってくるので、ボランティアで開削したのではなく、商売として開削した。このような歴史も事実をしっかりと調べ伝えていく必要がある。

委員 提案内容を聞いてとても期待をしている。学校では富士川舟運を勉強する際に新聞紙で高瀬舟の大きさを再現することや、当時河川敷にあった実物大の高瀬舟に乗って体感した。子どもたちは体感することでわくわくし興味が出てくる。限られた予算だとは思いますが、是非、高瀬舟の再現をお願いしたい。

委員 鯉沢中学校体育館前に山県大弐の碑がある。本来は富士水碑の隣にあるべき碑だと思うので、富士水碑の隣か、この資料館に移設する検討をしていただきたい。

事務局 予算に大きく影響する意見もあるが、今後、いただいた意見をできる限り反映し、より良い施設の整備に向け、各検討委員会で検討していただく。

事務局 今後施設名称の検討も各検討委員会で進めたい。現在、企画設計業者からも施設名称の提案があるがご意見等あれば伺いたい。

委員 資料館は富士川舟運関連であることから「富士川舟運歴史館」、人物館は、「富士川近代人物館」でどうだろうか。

③その他（現地視察）

事務局 企画設計業者より、現地を案内しつつ提案内容について説明する。

委員 天井が高く、壁面が広いので壁面を有効利用できないか。

事務局 壁面には3mほどの高さまで歴史資料や解説がプリントされる。それ以上の高さになると見えにくくなってしまう。天井からは来館者に持ち帰ってもらいたいキーワード等をタペストリーで吊るすことを考えている。

委員 やはり児童センターにある渡船ではなく、高瀬舟の展示を希望する。

事務局 高瀬舟の実物大だと入りきらない。サイズ的には既存の渡船がちょうどいい。また、床面に高瀬舟のサイズをプリントし、大きさを体感してもらうという方法もあるので、様々な方法を今後検討していく。

委員 スケールを小さくしてでも高瀬舟の展示を考えてほしい。

委員 菴米地区に富士川舟運を利用した旅日記がある。そのような物も展示品としてはよいのではないか。

事務局 是非、色々な資料をいただきたい。常設展示ではなく企画展という方法も考えられるので資料はたくさんあると良い。

8 閉会